

令和元年度 第2回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和元年8月9日(金) 13時30分から14時5分まで		
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室		
議 題	前回開催時の課題に対する報告、定例報告及び紹介率向上への取組みについて		
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会長	山川 隆司
	委員	大垣市医師会副会長	沼口 諭
	委員	養老郡医師会長	石井 光一
	委員	大垣歯科医師会長	片野 雅文
	委員	大垣歯科医師会副会長	荻下 雅仁
	委員	大垣薬剤師会長	松本 正平
	委員	大垣市教育長	山本 譲
	委員	大垣市女性連合会長	竹中 昌子
	委員	西濃保健所長	鷹尾 明
	委員	弁護士	鈴木 一朗
公開区分	公開		
傍 聴 人	なし		
審議概要	<p>1. 報告事項</p> <p>(1)前回開催時の課題に対する報告</p> <p>(前回開催時の課題)①電子カルテ更新後の OMNet の障害、操作性について。②地域医療従事者に対する研修会、講習会の開催状況に、大垣市民病院で開催される多職種研修会を掲載してほしい。③泌尿器のバルーンカテーテルと衛生材料等のセットを在宅になった患者さんに処方してもらいたい。</p> <p>(事務局)①診療情報提供書を一覧で出るように対応した。画像を閲覧する時に複数回クリックすることは現在対応中。②大垣市民病院が実施するものを対象とすることを県担当課へ確認した。③各病棟に通知した。</p> <p>(2)定例報告事項</p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、①<u>紹介率・逆紹介率</u>、②<u>地域連携を介した診察・検査件数</u>、③<u>開放型病床利用状況</u>、④<u>救急統計</u>、⑤<u>地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況</u>、⑥<u>地域連携クリニカルパス登録状況</u>、⑦<u>OMNet利用状況</u>について報告した。</p> <p>①紹介率……31年4月～6月:69.3% 逆紹介率…31年4月～6月:125.4%</p> <p>②地域連携予約診察件数…31年4月～6月計:3,322件 地域連携予約検査件数…31年4月～6月計:312件</p> <p>③開放型病床登録医数…元年6月末:160人(医科131人、歯科29人)、 利用率…31年4月～6月:10.1%</p>		

- ④救急受診患者数…31年4月～6月計:9,585人(月平均3,195人)
救急車利用件数…31年4月～6月計:2,436件(月平均812件)
救急入院患者数…31年4月～6月計:818件(月平均273件)
- ⑤地域医療従事者に対する研修…31年4月～7月開催数:10回、院外受講者159人
- ＊学術・ホームページ委員会、病診連携カンファレンス、がん診療委員会、糖尿病コメディカル研修会、介護福祉従事者研修会 等
市民対象講演会等…31年4月～7月開催数:4回、院外受講者349人
- ＊市民公開講座、糖尿病公開講演会、がんの市民公開講座 等
- ⑥地域連携クリニカルパス登録状況…31年4月～6月登録総数212件
31年6月末時点でのパス開始からの登録総数:8,654件
- ⑦OMNet利用状況…元年6月末時点の利用登録医療機関:108機関
診療情報閲覧に同意した患者総数:22,175人

2)上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。

(委員)市民を対象にした講演会の増加の原因は。

(事務局)糖尿病腎臓内科、呼吸器内科以外に循環器内科が講演会を始めた。

(委員)地域連携パスの回りが悪いところがあるので市民病院から刺激、紹介したものに関してパスを回してほしい。

(事務局)動きの少ないものは状況を確認し対応したい。

(3)紹介率向上への取り組みについて

1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。

①令和元年度6月までの患者さんからの電話予約実績件数は186件で、平成30年度同期間と比較し、33件15.3%の減少。地域別では大垣市の先生が8割以上を占めている。診療科別件数は、歯科口腔外科が約5割を占めており、頭頸部・耳鼻咽喉科、形成外科の順となっている。

②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和元年度6月までの相談件数は26件。診療科別では、眼科が34.7%、循環器内科が19.3%の順となっている。

2)委員から、上記の報告について意見・質問はなし。

2. その他

(委員)10月1日から入退院支援センターができるが病診連携で送る時は今まで通りか。

(事務局)今まで通りであるが、抗凝固薬について患者さんに充分理解されてなくて飲んでいることを知らない場合があると非常に危険なので、そこは徹底

してもらいたい。

（委員）今までは病診連携の予約申込書、その後、紹介状を送っていて、そこに薬が書いてある。それも同時に送るということか。

（事務局）複数の医療機関にかかる場合、その辺がいい加減になってしまう場合があるので、その辺り注意を。

（委員）入退院支援センターについて、昨年度、お薬手帳に QR コードを載せられないか話があった。お薬手帳に表示できないが調剤明細書に載せることができる。

（事務局）OMNet 利用規定を改正し、改元に伴い元号のない様式とした。また、患者さんが転院する際、迅速に OMNet 関係書類を作成しスピーディーな転院に対応できる様式とした。

（事務局）地域連携を介した紹介で土曜日は午前中、電話番、FAX 番がいる。土曜日の利用は皆さん承知しているのか。

（委員）土曜日はよく使う。

（委員）知っていると思う。

（事務局）平日に関しては夕方 7 時までで、開業医の先生方は 8 時頃までやっておられるが、その辺について何か意見はあるか。

（委員）意見は何も聞いていない。非常に助かっている。ギリギリにみえて紹介しないといけない方もいる。7 時頃に FAX、電話をしたり、土曜日 12 時過ぎまでやってもらっているのがありがたい。

（委員）夕方 6 時過ぎくらい、土曜日はお昼頃にやり取りする。土日を挟んで紹介し、土日や連休に悪くなったら紹介状を持って救急に行くように言っているのがありがたい。

（委員）緊急緩和ケア病床は開放型病床とは別の概念でいいのか。また、どのように紹介させてもらったらいいいのか。

（事務局）緊急緩和ケア病床は開放型病床とは別である。紹介は、緊急緩和ケア病床への入院としていただきたい。

（委員）よろず相談・地域連携課に連絡すればよいか。

（事務局）その通り。

（委員）今までに利用はあったのか。

（事務局）利用はない。まだ認知度が低いと思われこれから宣伝していきたい。

（委員）市民病院との連携について先生方と話をする、色々とやっていただいている何ができるのかと。OMNet に関しても何ができて、患者さん、我々はどういうメリットがあるのか分からないことがある。説明していただくことが可能であれば、機会を設けるかどうかを含め検討しないといけないと思っている。

（委員）OMNet は、同意をもらえる患者さんの画像、紹介状の内容、処方内容等が診れる。市民病院とかかりつけ医を行き来する患者さんに関しては、こち

	<p>らで説明させてもらうことも可能である。市民病院で撮った画像をこちらで説明し、画像を診ながら説明をすることで点数がとれ、プラスアルファの利用もでき患者さんにとってもメリットがあり、我々もそのメリットを感じている。</p> <p>(委員) 使い勝手の問題もあるかも分からないが、やり始めると利便性はある。</p> <p>(委員) OMNet は回線の余裕はあるか。</p> <p>(事務局) 同時アクセスを 40 まで広げまだ余裕はある。</p>
次回開催	令和元年度第 3 回委員会は 11 月 18 日に開催予定とする。